



2023年6月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2022年11月14日

上場会社名 株式会社ビーブレイクシステムズ
コード番号 3986 URL <https://www.bbreak.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 白岩 次郎
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 熊田 圭一郎

TEL 03-5487-7855

四半期報告書提出予定日 2022年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 2023年6月期第1四半期の業績(2022年7月1日～2022年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第1四半期	329	3.1	40	11.0	40	11.0	30	10.1
2022年6月期第1四半期	319	16.8	45	170.1	45	170.1	33	170.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期第1四半期	19.54	
2022年6月期第1四半期	21.73	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年6月期第1四半期	1,885	1,445	76.7
2022年6月期	1,882	1,433	76.1

(参考)自己資本 2023年6月期第1四半期 1,445百万円 2022年6月期 1,433百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期		0.00		12.00	12.00
2023年6月期					
2023年6月期(予想)		0.00		12.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年6月期の業績予想(2022年7月1日～2023年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	656	0.6	78	26.6	78	26.7	59	26.0	38.39
通期	1,343	6.3	170	10.7	170	10.6	128	9.6	83.29

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.5「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.5「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年6月期1Q	1,536,960 株	2022年6月期	1,536,960 株
期末自己株式数	2023年6月期1Q	196 株	2022年6月期	196 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年6月期1Q	1,536,764 株	2022年6月期1Q	1,536,764 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第1四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	5
(会計方針の変更)	5
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が残る中、ロシアのウクライナ侵攻に起因する資源価格の上昇により世界中で物価が上昇し、日本以外の多くの国の中央銀行がその沈静化を目的とした利上げを実施したことから円安が急速に進行し、また、国内の物価にも影響が出始めるなど、先行きが極めて不透明な状況で推移しました。

当社が属する市場および顧客においては、企業のシステム投資ニーズは安定しており、エンジニアの需要も高水準を維持しているものの、今後の状況は予断を許さないものと認識しております。

こうした環境の中、当社は、“ITで経営の今を変える、未来を変える”のコンセプトメッセージを掲げ、クラウドERP「MA-EYES」を中心としたパッケージ事業や、システムインテグレーション事業の強化に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高3億29百万円（前年同四半期比3.1%増）、営業利益40百万円（同11.0%減）、経常利益40百万円（同11.0%減）、四半期純利益30百万円（同10.1%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①パッケージ事業

主力製品であるクラウドERP「MA-EYES」において、新規受注が増加し、また、前期に受注した案件の稼働に伴い保守料が増加しましたが、既存ユーザーからの追加開発に関する受注が減少したことから、売上高は1億93百万円（前年同四半期比5.2%減）、セグメント利益は84百万円（同9.5%減）となりました。

②システムインテグレーション事業

パッケージ事業の減収に伴い、パッケージ事業から一部エンジニアを本事業にシフトさせたことなどから、売上高は1億35百万円（前年同四半期比17.8%増）、セグメント利益は32百万円（同22.3%増）となりました。また、本事業の占める売上高の比率が上昇したことにより、全社での利益率は低下いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末の総資産は18億85百万円となり、前事業年度末に比べ3百万円増加いたしました。これは主に、売上規模の堅調な推移に伴う売掛金及び契約資産の増加によるものであります。

当第1四半期会計期間末の負債合計は4億40百万円となり、前事業年度末に比べ9百万円減少いたしました。これは主に、未払法人税等の減少によるものであります。

当第1四半期会計期間末の純資産合計は14億45百万円となり、前事業年度末に比べ12百万円増加いたしました。これは、四半期純利益計上に伴う利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、2022年8月12日の「2022年6月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年6月30日)	当第1四半期会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,656,327	1,635,912
売掛金及び契約資産	142,473	167,097
仕掛品	1,008	—
前払費用	9,982	9,204
未収収益	1	—
その他	288	1,328
流動資産合計	1,810,080	1,813,541
固定資産		
有形固定資産	83	76
投資その他の資産		
長期前払費用	5,676	4,967
敷金	24,121	24,121
繰延税金資産	42,230	42,230
投資その他の資産合計	72,027	71,318
固定資産合計	72,110	71,393
資産合計	1,882,189	1,884,934
負債の部		
流動負債		
買掛金	22,160	21,540
契約負債	200,757	204,735
未払金	8,362	6,042
未払費用	18,277	9,169
未払消費税等	21,045	25,951
未払法人税等	32,053	12,742
未払事業所税	1,670	441
預り金	19,716	5,712
受注損失引当金	42	—
アフターコスト引当金	—	768
賞与引当金	—	19,131
未払配当金	148	791
流動負債合計	324,231	307,023
固定負債		
退職給付引当金	124,726	133,088
固定負債合計	124,726	133,088
負債合計	448,957	440,111
純資産の部		
株主資本		
資本金	232,632	232,632
資本剰余金	286,063	286,063
利益剰余金	914,979	926,570
自己株式	△441	△441
株主資本合計	1,433,232	1,444,823
純資産合計	1,433,232	1,444,823
負債純資産合計	1,882,189	1,884,934

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)
売上高	318,822	328,808
売上原価	168,689	181,750
売上総利益	150,134	147,057
販売費及び一般管理費	105,276	107,137
営業利益	44,857	39,921
営業外収益		
受取利息	7	8
雑収入	14	—
営業外収益合計	21	8
経常利益	44,878	39,929
税引前四半期純利益	44,878	39,929
法人税等	11,479	9,896
四半期純利益	33,399	30,032

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	パッケージ事業	システムインテ グレーション事 業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	203,882	114,940	318,822	—	318,822
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	203,882	114,940	318,822	—	318,822
セグメント利益	93,051	25,963	119,014	△74,157	44,857

(注) 1. セグメント利益の調整額△74,157千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期累計期間(自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	パッケージ事業	システムインテ グレーション事 業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	193,363	135,444	328,808	—	328,808
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	193,363	135,444	328,808	—	328,808
セグメント利益	84,189	31,764	115,953	△76,032	39,921

(注) 1. セグメント利益の調整額△76,032千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。